

東京高連ニュース

発行

東京高齢期運動連絡会
電話:03(5956)8781
fax:03(5956)8782
Em:tokyo.koureiki@gmail.com
発行人:菅谷正見

日本高齢者大会まであと2ヶ月

東京からのべ300名を

超える参加で

成功させよう!

現地参加者を組織し、
参加申し込みを至急
お願いいたします

お願いいたします

第39回日本高齢者大会開催まで残り2カ月を切りました。東京実行委員会では、東京から二日間でのべ300名を超える参加で、大会の成功を目指しています。憲法や社会保障の改悪を許さず、高齢者の尊厳と人権を守る思いを共有し、全国の仲間と顔を合わせ、学び、励まし合

える二日間です。この高齢者大会をみんなで大成功させ、高市自民党と維新などの悪政にストップかける、国民の世論を示しましょう。至急団体・地域での取り組みを強めましょう。

高齢者大会は
11月10日(火)・11日(水)です。

・1日目の10日は、学習講座・分科会です。
・2日目の11日は全体会で、記念講演には青木理さんが「平和と人権を語る」(仮題)で講演します。

大会の詳しい内容や、参加申込書は、東京高齢期運動連絡会の「2026年日本高齢者大会」のページからダウンロードできます。分科会の一覧、現地参加とWeb参加それぞれの案内、

年金者組合町田支部は チラシ400枚取り寄せて、 取り組みを始めました

大会に向けた動きが各地で始まっています。年金者組合町田支部では、東京実行委員会からチラシ400枚を取り寄せ、組合員に配布して参加を呼びかけ、WEB会場設定の準備もはじまっています。多摩市では南多摩教育会館を会場にWEB衛生会場を開設する準備を進めています。北区でも組合の事務所を使って同じくWEB会場を設ける計画が動き出しました。現地・大阪への参加を重視しながら、現地に足を運べない人のた

参加費(現地2500円/日、Web1000円/日)、Web1000円/日)、宿泊やツアーの情報もそこに載っていますので、<https://x.es-taikai>をぜひ一度のぞいてみてください。

早めの申し込みをお願いいたします。わからないことがあれば事務局に問い合わせてください。

【東京実行委員会】

電話03-5956

8781

F..03-5956

8782

※ 東京実行委員会ツアーは、往復、東京、新大阪間新幹線を利用し、10日の宿泊は京都府亀岡の「湯の花温泉」です

※ 現地直接参加される方は、交通機関・宿泊を、各自で手配をお願いします。

めにWEB会場を準備する取り組みも大いに広がってください。東京版のチラシ、全国版のリーフレットに必要な団体、地域は東京高齢期運動連絡会にご連絡ください。

全国の仲間が大阪へ! /

第39回 日本高齢者大会
in おおさか

議席・分科会 11月10日(火) 会場: 大阪国際会館場 (7・8・14階)
全体会 11月11日(水) 会場: 大阪国際会館場 (メインホール)

みんな大阪にきてや〜!

なぜいま、大阪に集うのか

40年の歩み

大会は1987年京都で始まり、中曽根内閣が「戦後政治の総決算」を掲げ、老人医療費の負担が重くのしかかるうとしていたとき、

11月10日、大阪府立国際会議場（グランキューブ大阪）で「第39回日本高齢者大会inおおさか」まで、残り二か月となり、毎年この大会を開き続けることの大切さ。そして、現地に足を運ぶことの意味を、あらためて考えたいと思います。

4000人の高齢者が自らの要求を掲げて立ち上がり、一人ぼっちの年よりをなくそう」「安心して暮らせる高齢期の保障を確立しよう」、このスローガンは、翌年の福島大会で採択された日本高齢者憲章に結実し、1996年には名称も「日本高齢者大会」となりました。2020年、新型コロナウイルスの感染拡大によって開催されたものを一年延期しましたが、運動の灯は消えず、翌2021年にはオンライン形式で大会を再開、その後ふたたび現地開催へと歩みを戻し、2022年の京都大会では、「日本高齢者人権宣言」が採択されました。

がいま大阪に集うことは、この歩みに自分自身を連ねることもあります。

今、声を上げるとき

骨太方針2026では、大軍拡と引き換えに社会保障を破壊、高額療養費制度の改悪、OTC類似薬の一部保険外し、更に介護制度の大改悪、高齢者医療費窓口負担3割化が狙われ、年金は毎年目減りさせられています。世界の戦争の危機に便乗して憲法改定の発議に前のめりになつて、政権の動きに、国会周辺から全国へと広がる若い世代を含めた反対の声がわき起こっています。

一方、国連では高齢者の権利を守るための国際条約を起草する政府間作業部会（IGWG）の実質的な議論が始まり、日本高齢者人権宣言を掲げてきた私たちの運動と、世界の高齢者運動とが呼応し始めています。国内での運動と、国連での議論を、大会の場でつなぎ合わせることもできる。これは今年の大会の特徴のひとつです。

大会は、全国の貴重な活動とみんなの声を束ねる結節点

各地域、各団体は、それぞれの持ち場で懸命に運動を積み重ねています。しかし一つの地域、一つの団体だけでは見えない景色もあります。地域に根差した小さい粘り強い活動、他県での自治体交渉の実際、展開された学習会、要求に根差した運動で自治体政治を変えた経験、人々の心を動かした訴え・・・高齢者大会の分科会でしか手に入らない、生きた経験と知恵があります。大会は、その一年

「ひとりぼっちをなくそう」は人のためならず

一年の実践を持ち寄り、確かめ合い、また地域に持ち帰る場です。全国から集まった仲間の存在を肌で感じることは、次の一年の運動を支える確信にもなります。

ぜひ、大阪で会いましょう

歴史の重み、情勢の緊張、運動の連帯、そして参加者ひとりひとりの実り。そのどれもが、二か月後の大阪に集約されます。ぜひ現地の会場につくる一員になつてください。大阪でお会いできることを、心から楽しみにしています。

大会の詳細な内容は、

【東京実委ホームページ】
<https://x.gdtaiikai/> をご覧ください。
申し込み用紙もダウンロードできます。
申し込みの第1次締め切りは9月30日です。
（東京高齢期運動連絡会）